

# 9月例会は「禅 ZEN」

## 「7周年記念上映会」は成功

5月例会の『ココシリ』、7月例会の『マルタのやさしい刺繍』、7周年記念上映会の『火垂るの墓』と加古川のシネマクラブらしい作品が続いています。そのおかげもあってか、会員数の減少は、少しくい止められました。しかし、まだまだ活動を続けていくには、かなり厳しい状態です。会員の皆さんには、何とか会員数が200人前後で安定するまでは、チラシを持ち帰って、映画好きの人に入会の呼びかけをいただくなど、会員数の確保にご協力をお願いいたします。

### 例会のお知らせ

名称 / 第44回例会『禅 ZEN』

日時 / 9月16日(水) PM1:50~、PM4:10~、PM6:30~

場所 / 加古川総合文化センター大会議室 (JR 東加古川駅から北へ徒歩10分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北へすぐ)

受付 / 入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。

入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。

### 【例会作品データ】

タイトル / 禅 ZEN

監督 / 高橋伴明



出演 / 中村勸太郎、内田有紀、藤原竜也、テイ龍進、高良健吾、安居剣一郎、村上淳、勝村政信、鄭天庸、西村雅彦、菅田俊、哀川翔、笹野高史、高橋恵子

データ / 2008年、日本、127分、ドラマ / 伝記 / 鎌倉時代の時代劇

作品紹介 / 乱世の鎌倉時代 全ての人々を支え続けた孤高の人、道元禅師。750年の時を超え、今甦る感動のものがたり。

この現世の中で、何故、人は争い、病の苦しみ、死の苦しみから逃れられないのでしょうか・・・、そなたに、その苦しみから抜ける道を見つけて欲しい・・・。そう言い遺しこの世を去った母・伊子。

幼くして母と死別した道元は、24歳で仏道の正師を求めて入宋。不思議な縁に導かれ、天童山景德寺如浄禅師の許へ。そこで修行を積み、ついに悟りを得る。

帰国した道元を乱世が待ち受ける。時の権力者から遊女にいたるまで、多くの人々が苦悩を抱えていた。道元は二度にわたり寺を追われるも、門弟らと共に真の仏法建立に努め、越前志比庄に大仏寺(現永平寺)を建立。宋からわたってきた寂円、のちに正伝を授ける懐奘ら門弟、さらには近隣の住人たちへの指導に励む。

雪深い冬の永平寺。参禅の鐘が鳴る中、僧堂で坐禅をする道元。命朽ち果てても尚、坐禅を続ける姿に、僧たちは静かに涙を流す。こうして、道元は54年の生涯に幕を下ろした。

その他 / 道元禅師と聞くと、曹洞宗大本山永平寺第78世貫首の故宮崎奕保(えきほ)さんの姿を思い出す。加西市で生まれ加古川町稲屋の福田寺で得度を受け住職を務め、ひたすら座禅をする只管打座を實踐して生涯を送った厳格な仏教者だ。5年前にNHKで放映されたドキュメンタリー番組は、秀逸で強く記憶に残っている。時代は異なるが、私の中では、道元禅師と故宮崎奕保師が重なって観えるときがある。

また、尾上町出身で高砂や須磨を拠点に、独自の現代俳句の世界を創った永田耕衣さんも、道元禅師の『正法眼蔵』の影響を強く受けた人物だ。「莫妄想」

の戒めとともに、独自の「無」の世界観の中で、感じたことをただ句にするだけ、晩年の句は、未だにほとんど理解できないが、言葉の強さを感じる。

天も庭その隅やんま翻る 耕衣 (ハインリッヒ)。

## 7周年記念上映会のお礼

8月23日(日)に加古川シネマクラブ設立7周年記念上映会として、『火垂るの墓』の上映会を開催し、無事終了することができました。関係者の皆さまには厚く感謝申し上げます。

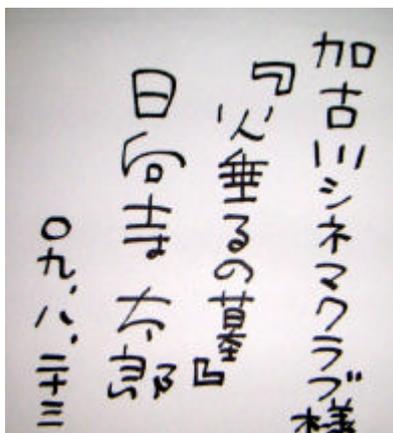


撮影の様子を語る日向寺監督

今回は、特別ゲストとして、日向寺太郎監督をお招きし、師匠である黒木和雄監督のこと、映画俳優としての、吉武伶朗、畠山彩奈、松坂慶子、松田聖子などのこと、兵庫県内でのロケのエピソードのことなどを、加古川シネマクラブの岡本健一郎さんとの対話形式で、実にまじめに語っていただきました。

特に、多くの映画製作スタッフが働いているところを目の当たりに見れた、加古川町のニッケ社宅でのロケの裏話は、現場を見学した人にとっては、楽しかったようです。

日向寺監督からは、後日、加古川の多くの皆さんに作品を観てもらった深い感謝の言葉と、翌日に食べた明石焼きのことや、甲子園高校野球決勝戦を観戦できたことのお礼のメールもいただきました。



日向寺監督サイン

今年は、昨年度と比べ、文化庁からの補助金の額が約10万円減額されたため、赤字が出ることを心配していましたが、約310人の入場があり、ほぼ収支の均衡がとれ、会計関係者は安堵しています。

皆さん、ありがとうございました。

## 例会作品選定について

通常2月と8月に開催している例会選定会議ですが、この1年間は開いていません。今までの参加者がほとんど運営委員などの関係者で、運営委員会と同じことになっていたことと、会計が厳しくなってきたためです。

以前は、各回10本程度の候補作品から、内容を中心に選考していたのですが、今は、基本的にある程度の内容なら経費の安いもの2~3本の中から、すぐには選ばないといけない状態が続いています。

しかし、たいへんなおススメ作品なら、年に1回くらいなら、経費のことはあまり考えず選考する気持ちで関係者はいますので、これは！というおススメ作品があれば、運営委員会に参加して披露いただくか、アンケートなどでお知らせください。

また、しばらくようすを見て余裕が出てきたら、例会選定会議は再開いたします。

## 前回例会の報告

7月9日(木)の例会では、『マルタのやさしい刺繍』を鑑賞しました。ほとんど観る機会の少ないスイス映画でしたが、老人、友人、親子、生きがい、新しい開発問題など、日本の山間の農村問題と似たところも多く、共感できる楽しい作品でした。

アンケートの感想には、「生き生き暮すには年齢はあまり関係ないことをあらためて思い返した」、「好きな刺繍をしているマルタの生き生きした顔がとても印象的でした、これからもたくさんの趣味を楽しみにしていきたい」、「下着に刺繍は私の好みでありません」など、感想が寄せられました。

参加者数 118人。

## ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200~300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL [cinemaclub@nifty.com](mailto:cinemaclub@nifty.com)

<http://homepage3.nifty.com/cinemaclub>

会員数 160人(7月9日現在)